



新公会計info

創刊号 2016.9.30発行
新公会計検討委員会事務局





新公会計info 創刊ごあいさつ

平成26年4月、総務省から今後の新地方公会計の推進に関する統一的な基準が公表され、固定資産台帳を含む財務書類の作成が地方公共団体に要請されました。

区は、平成27年4月品川区新公会計検討委員会および作業部会（作業部会の下に3分科会）を設置し検討をかさね、平成28年4月に「品川区新公会計制度基本方針」を決定いたしました。

これにより「企業会計方式」「日々仕訳（ひびしわけ）」「部別、課別等のセグメント単位」等の「会計の見える化」を図ることを基本方針とした新公会計を導入し、あわせて新財務会計システム構築を行うこととなりました。

このたび「新公会計info」を創刊することといたしました。皆様の役に立つ情報を発信してまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

平成28年9月 新公会計検討委員会事務局(会計管理室)

新公会計って？

新公会計とは「複式簿記」「発生主義」に基づく会計制度です。

複式簿記とは

複式簿記は、1つの取引について、それを原因と結果の両方から捉え、二面的に記録していく方法で、資産・負債の動きや損益を把握することができます。

発生主義とは

発生主義は、現金の収支にかかわらず、資産、負債の増減事実や収益、費用の発生事実に基づいて取引を記録する考え方です。

Point

現行の官庁会計は「単式簿記」「現金主義」に基づく会計制度です。「複式簿記」「発生主義」については、次号以降でより詳しく説明します。

なぜ新公会計を導入するの？

新公会計を導入することにより、3つの効果が期待されます。

行政経営
マネジメント力
の向上

わかりやすい
開示による説明
責任の向上

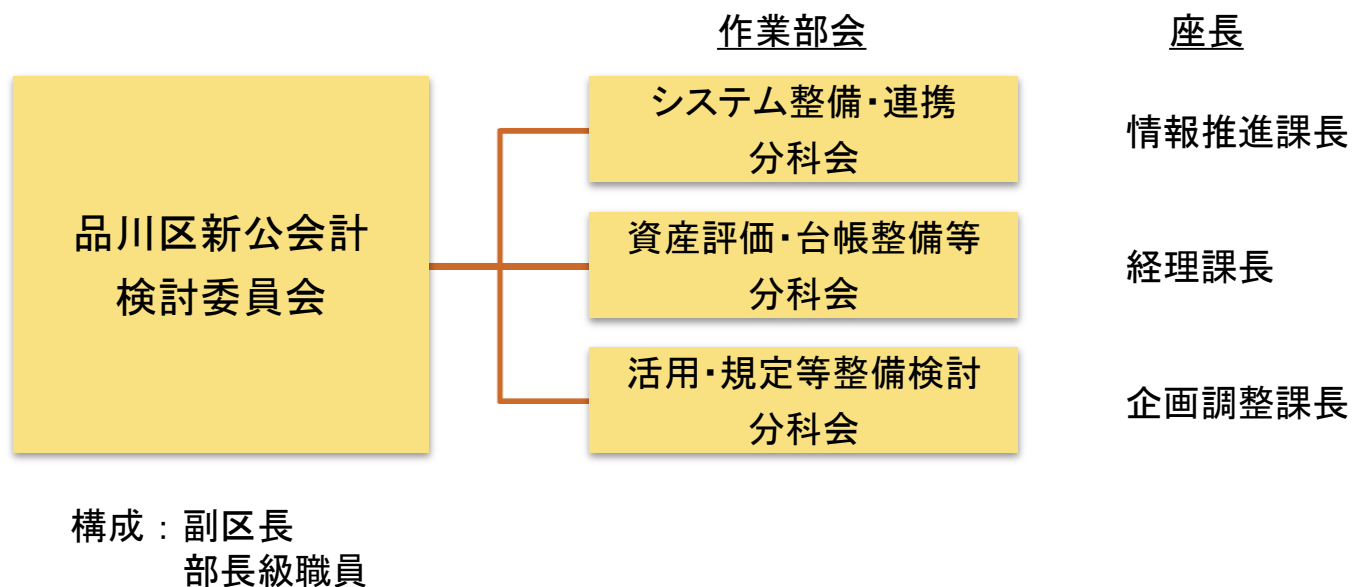
適正な資産管理、
財務力の強化

Point

新たな財務情報の見える化により、区の目指すべき姿を実現していきます。

どこで検討を進めているの？

新公会計の導入は、以下の組織で進めています。



Point

検討委員会や作業部会で決定した内容は、随時本紙などで皆様にお知らせします。



新公会計導入スケジュール

平成30年度の導入に向け、以下のスケジュールで進めています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
検討委員会・各分科会	基本方針の決定	新公会計制度設計	新公会計制度運用手法の検討	新公会計制度運用開始 (研修) 財務諸表の活用他
システム導入		システム開発	運用テスト 9月 予算系システム稼働 1月 契約系システム稼働 同 文書管理システム稼働 3月 財務会計システム稼働	
職員研修等		(研修) 新公会計制度の概要 (広報) 情報紙の発行	(研修) 複式簿記の基礎 財務諸表の読み方 システム操作研修 他 (広報) 情報紙の発行	

本紙
です

Point

職員研修を通じて、新公会計に対する理解を深めていきます。



<次号予告>

- ・やさしく解説 新公会計制度基本方針
- ・よくわかる① 複式簿記とは ほか

